

第36号

発行責任者／瀬端 耕
編集委員／仁平 光洋
猪野 貴之
神奈川知芳
武井 大輔
関口 知充
草間ゆりこ



平成28年3月31日発行

(題字 中島 和哉)

〒309-1107
茨城県筑西市門井1677-21
TEL.0296-57-5125 FAX.0296-57-5126
URL <http://www.kohtokukai.jp>
E-mail:sumireen@kohtokukai.jp



目次



施設長挨拶・新年の抱負	2
バーベキュー昼食会・トリムバレー大会	3
文化祭	4
忘年会・餅つき会	5
鍋昼食会・節分	6
外出スナップ	7
車椅子への正しい座り方・ナイスハートふれあい美術展	8
退職のお知らせ・編集後記	8

社会福祉法改正について

施設長あいさつ



すみれ園施設長

瀬 端 毅



平成二十八年三月中に、社会福祉法の改正が国会承認される見込みです。国会の改正内容は、地域における公益的取り組みを実施する責務、事業運営の透明性の向上、経営組織のガバナンスの強化、財務規律の強化になりますが平成二十九年度は、これらの課題を整理し、改正に向けた取組みを開始していく年になります。

すみれ園に関わる事としては、退職共済制度の見直しになりますが、これ

までの公費助成がなくなり、全額事業者負担になることについて、法人として、職員に不利にならないよう、制度の継続をし、職員の安定確保とご利用者様の支援の質の確保に努めてまいります。

最後に、当法人においても、当施設においても国民の負託に応える組織となり、存在の意義を示していきたいと考えています。

一〇六年 ご利用者様・職員抱負

★Aグループ

板橋利江様

今年は、外出をいっぱいしたいです!!



生井幸三様

今年も健康で頑張りたい!!



★Bグループ

内野正夫様

洗濯物をきれいにタンスに入れたい!!



★Cグループ

ゴルフを上達したいです!



★生活支援員

仁平光洋

ご利用者様の人間性を尊重し、思いやりの看護を提供する事を心掛けたいです!



★看護師

瀬畠玲子

美容と健康!!
自分磨きに頑張ります!



★生活支援員

渡辺万里子





平成二十七年九月十六日(水)に、県西総合公園にて、すみれ園恒例のバーベキュー昼食会が行われました。

ご家族様、協和ライオンズクラブ及び協和ライオンズクラブこだま支部の皆様の協力のもと、肉や野菜、焼きそば等を美味しくいただきました。焼きそばは、ソース味と塩味を用意し、好きな味を選んでいただく、バイキング方式としました。アイスクリームも色々な味を楽しめるようにバニラ・エスプレッソ・白桃と3種類用意し、喜んでいただきました。ご利用者様、ご家族様、ボランティアの方々の笑顔も多く見ることができ、「美味しかった」「楽しかった」との声を聞くことができ、楽しいバーベキュー昼食会となりました。当日は、生憎の曇り空でしたが、体調不良者も出ることなく、帰路に着くことができ、最後まで外でバーベキュー昼食会を楽しむことが出来ました。

最后になりましたが、協和ライオンズクラブ及び協和ライオンズクラブこだま支部の皆様ご協力ありがとうございました。

生活支援主任 篠崎 朝美



バーベキュー昼食会



平成二十七年十月十四日(水)茨城県立医療大学体育館にて、トリムバレー大会が開催されました。練習も、大会近くになると一層気合いが入り、練習中の掛け声にも気迫が出ていました。大会では初戦から苦しい試合となりましたが、一致団結し三試合を勝ち抜き、準決勝進出を決めました。

準決勝戦では、ご利用者様自身プレーを感じていてるのが応援席にも伝わりました。奮闘しましたが、終了の合図が鳴り、結果は十五対八という一步届かずの成績でした。三位決定戦でも諦めることなく試合に挑む姿は勇ましく、活気に満ち溢っていましたが、残念ながら負けてしまいました。

今回の大会では四位という結果に終わりましたが、気持ちを切り替えて“来年こそは！”と目標をあげて練習に励んでおります。

トリムバレー大会

生活支援員 川部 美貴



来年こそ
優勝!!



午前の部では、ボランティアとして豊遊会の方をお招きし、マジックやフラダンス、カラオケを観賞しました。フラダンスには職員も参加し、盛り上がりをみせた楽しいステージとなりました。

昼食には、秋の味覚満載のお弁当（松茸ご飯、天ぷら（海老・レンコン・舞茸）、銀鮈の西京焼き、豚の角煮、厚焼き玉子）を用意しました。屋台には、焼き鳥、たい焼き、秋野菜のけんちん汁、アイスクリーム（粒バニラ）が並びました。天高い秋空の下、ご利用者様とご家族様が「やっぱり焼きたてのたい焼きは美味しい！」「けんちん汁は具だくさんで美味しい！」など会話が弾みながらの食事となりました。

午後の部では、bingo大会を行いました。bingoの一等には「好きな物を買えるお買い物券」など、いろいろな景品を用意しました。出る数字に一喜一憂しながらも、楽しいbingoになりました。

最後になりましたが、豊遊会の皆さま素晴らしいステージをありがとうございました。

午前の部では、ボランティアとして豊遊会の方をお招きし、マジックやフラダンス、カラオケを観賞しました。フラダンスには職員も参加し、盛り上がりをみせた楽しいステージとなりました。

平成二十七年十一月七日（土）に第三十回目となる『すみれ園文化祭』を行いました。



生活支援主任 神奈川 知芳

作品展示場

日中活動を紹介するポスターや創作活動で作った習字、のれん、結び編みを展示しました。また、外出や行事の様子をDVDで作成し上映しました。



豊遊会の皆様ありがとうございました！



昼食



忘年会

生活支援員 岩渕 裕子

平成二十七年十二月十六日(水)に、すみれ園内にてご利用者様の忘年会が行われました。

まず、一年間の締めくくりの行事として、ご利用者様にどのような一年だったのかを振り返れる「出来事クイズ」を行いました。「そんなニュースもあつたな。」「今年の事だったのか。」など一年間を振り返ることができました。一年を振り返ったところで、代表のご利用者様に来年どのように一年にしたいかの抱負を語っていただきました。

余興では「コロコロバイキング」というゲームを行いました。ご利用者様と職員が協力して1m×2mの大きな段ボールの板を持ち、板を左右に動かしボールが落ちないようにカゴにボールを入れて、ボールの数を競うゲームです。予想外に腕力を要するゲームでしたが、チーム一丸となり優勝を目指して頑張っていました。サプライズとして、アンパンマンファミリーが、ゲームの応援にかけつけると一緒に写真を撮るご利用者様もおられました。

食事では、握り寿司やオードブル、ピザ、フライドチキンを用意しました。デザートのチョコレートフォンデュが好評で、ご利用者様もご自分でバナナやカステラなどを選んで、楽しそうにチョコを掛けていました。今回は、お寿司をソフト食で提供しましたが、色も形も本物と変わらず、ご利用者様には見た目も味にも満足してもらえたかと思います。

また来年も楽しい思い出を一つでも多く振り返る事が出来るように、ご利用者様が健康で明るく楽しい生活が送れるように願います。



餅つき会

栄養主任 池田 直美

平成二十七年十二月二十八日(月)に、年末恒例行事の「餅つき会」を行いました。餅は長く伸び切れないことから、健康で長寿を願う意味もあり、祝い事には欠かせない食べ物です。

今回も、ご利用者様と職員が一緒になつて杵を持ち、大きな声の「よいしょ！よいしょ！」の掛け声に合わせて餅つきを行い、迫力ある光景に楽しいひと時を過ごしていただけたかと思います。

つきたての餅は鏡餅にし、飾りました。「鏡餅」の丸い形は、昔の丸い鏡に由来し、大小二段重ねることで、円満に年を重ねるという意味も込められています。ご利用者の皆様が今年も一年「健康で、円満に年を重ねられますように」と願っております。





個別のプレートに取り分け提供致しました。

皆様いかがだった
でしょうか？鍋屋食
会を通して、お鍋の
季節・雰囲気を味
わっていただけたの
ではないかと思いま
す。

今回の特徴として、参加する全てのご利用者
様にお鍋を見て・食べて楽しんでいただこうと
考え、配膳時には常食での提供とし、
ペースト・きざみ・一口大の方は、
食べたい具材を鍋から取り調理する
スタイルにしました。オードブルに
関しても、平等に食べられるように、
個人のプレートに取り分け提供致し
ました。

平成二十八年二月十日(水)に、鍋屋食会を開催しました。メニューは寄せ鍋にし、食材にお肉（豚肉）・魚介（たら、鮭、エビ、イカ）・お野菜（白菜、椎茸、人参、ネギ、豆腐）を入れ最後に雑炊にして最後まで楽しみました。オードブルは、唐揚げ・ポテトサラダ・枝豆・漬物を用意しました。デザートには、ゆずシャーベット・バニラアイスの二種類を用意して、バニラアイスには好みで、きな粉や黒蜜をトッピングしました。

鍋屋食会

生活支援員 上野 享央



今回の豆まきで、ご利用者様、職員に、ますます福が来ることを願っています。



節分

生活支援課長補佐 飯泉 良次



「福は内！鬼は外！」二月三日、毎年恒例の豆まきが「すみれ園」で行われました。鬼に扮した職員に向かって、勢いよく豆を投げる方、隠れて豆をつまんでいる方、それぞれ笑顔がはじけていました。そもそも、どうして節分に豆まきをするようになったのでしょうか？本来、節分とは、季節の変わり目である「立春・立夏・立秋・立冬の前日」のことを言いますが、春を迎えるということは、新年を迎えるにも等しい大切な節目だったため、室町時代あたりから節分といえば立春の前日だけを差すようになりました。また、季節の変わり目には邪気が入りやすいと考えられており、新しい年（立春）を迎える前日（立春の前日・節分）に、鬼に豆をぶつけて邪気を払い、福を呼び込もうと始まつたそうです。

外出スナップ

**つくば市
つくばわんわんランド**

ピース

**東京都墨田区
両国国技館
~天龍源一郎 引退~**

**千葉県浦安市
東京ディズニーシー**

**つくば市 筑波山
下妻市 イオンモール下妻**

車椅子への正しい座り方

機能訓練指導主任 藤田 華枝

二月の職員会議で機能訓練指導員による勉強会を行いました。

◆すみれ園で多く見られている姿勢

仙骨座り

①「仙骨座り」の原因

- 車いイス座面のサイズ(奥行)が大きすぎる。
- フットサポートの高さが不適切
- スリングシートのままで座らせている。
- 車椅子座面のバックスサポート形状と円背の不適合
- 股関節の屈曲硬縮傾向
- 股関節の伸展硬縮傾向
- 座位保持能力とバックスサポートの高さ及び形状の不適合

横方向への崩れ

②横方向への崩れの原因

- 車椅子の前後左右方向の適合が悪い。
- 仙骨すわりでスリングシート及び車椅子クッションの横方向のへたりが横崩れを引き起こしてしまっている。

3.骨盤の歪みがあり、側弯が強い事。

4.筋力の低下により維持が困難である事。

※仙骨すわりになる方にしてはいけない事

極端にアンカーを加えたクッションを使う事。

物理的にお尻が滑るのを押さえつけることであつて「身体拘束」であると認識するから。)

※横方向への崩れに対しやつてはいけない事

よく、傾いている側にクッション等を挟む対応を見かけますが、この時押し込んだクッションによつて骨盤が反対方向に押され、一層体幹が傾いて染むことがあります。特に座面のたわみが大きい場合、座面の不安定な状態のクッション入れるとより事態を悪化させる事がある。



ティルト＆リクライニングの車椅子乗車体験

（姿勢を保つシーティングのポイント!!）

・シーティングの基本は骨盤を傾かせないこと。

・そして正しい位置に重心を置くこと。

・座面は骨盤が確りと安定するように固く、水平にする。

・座面とせもたれの間の部分にお尻がきちんと収まる

・スペースを設ける。

・背もたれの腰の部分に、しつかり後ろに倒れないよう支える。

・背中のカーブに沿つて支えるように背もたれ隙間が生じないような自然な傾きにする。

・肩甲骨あたりの背もたれ最上部では、少し前に押す

ような形として自然に胸が張れるようにする。

・左右の姿勢がぶれる場合は真っ直ぐになるように

クッション等で調整する。

【良い姿勢の条件として】

【安定】：座位姿勢そのものが安定している。

【リラクゼーション】：姿勢保持するために入っている様な事が無く、全身リラクゼーションが図られ必要以上に筋緊張が亢進したり、身体の局所が過剰に変形をきたしたりしていない。

【安楽な呼吸】：より深くよりゆったりとした呼吸状態になつてている。

退職のお知らせ

三月三十一日付けで生活支援員の川部美貴さんが退職されました。新天地でのご活躍を祈っています。



ナイスハートふれあい美術展

平成二十七年十二月十日から十四日までの五日間、

茨城県立県民文化センターでナイスハートふれあい美術展が開催されました。すみれ園のご利用者様も書道

部門に三作品、陶芸・工芸部門に二作品を出展しました。

出展した五作

品の中から書道

部門において長

谷川美子様が書

いた「雲海」が

茨城県身体障害

者福祉団体連合

会会長賞を受賞

しました。

皆様は朱印帳をご存知でしょうか？

朱印帳とは、神社や仏閣にお参りしたときに、社務所にて朱印の捺印と日付を記入してもらうための文庫本くらいの大きさの帳面で、平たく言うと神社・仏閣のスタンプラリーカードみたいなものです。

私も昨年、朱印帳を購入してみたのですが、神社によつて様々な種類の朱印があり、日付も記入されるの一方で「仙骨すわり」での「かせきり」は良くないという事が常識になりましたが、その一方で「仙骨すわり」での記念として持つていくようになりました。

ちなみにお参りするときは、最初に自分の感謝の気持ちを捧げ、願い事は最後に述べるのが順番とされています。皆様も、何か記念になる事をしてみませんか？

Y・I